

公立大学法人 会津大学

会津大学ロボットテストフィールド研究センターにおける研究と産学連携活動 大学の研究教育・地元産業と人材育成・F-REI研究

2025年10月にRTFで開催された、災害による困難環境下で活躍するロボットの技術開発等を目的に競技するWorld Robot Summit 2025「過酷環境F-REIチャレンジ」では下記4部門に参加。



シミュレーション災害チャレンジ
出場チーム「REL-UoA」【2位】



過酷環境ドローンチャレンジ
出場チーム「MARS_ZERO+UoA」【3位】
※1



プラント災害チャレンジ
出場チーム「MISORA+UoA」【3位】
※1



標準性能評価ドローンチャレンジ
出場チーム「UoA_Flight」【6位】

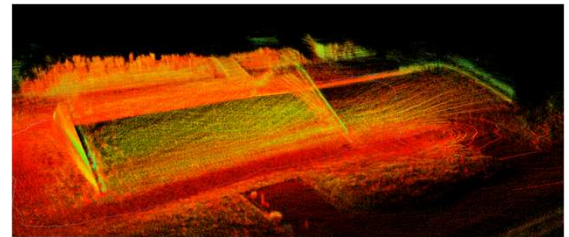
RTFを活用した研究、産学連携活動



企業と連携したロボット技術教育
（「復興知」事業※2）



LiDER※3を活用した三次元地図生成実験
（RTF瓦礫・土砂崩落フィールド）



LiDERを活用して生成された3次元地図
図

※1 過酷環境ドローンチャレンジ及びプラント災害チャレンジには南相馬産業ロボット協議会と合同チームとして参加。
※2 東日本大震災後の福島復興を目的に、大学等の知見（研究・人材）を地域課題の解決に活用するプログラム。
※3 レーザー光を照射し、反射して戻ってくるまでの時間から対象物までの距離や形状を3次元で精密に計測する技術。

概要

会津大学は、日本で最初のコンピュータ理工学専門の大学として1993年4月に開学し、情報通信技術（ICT）に関連する研究と教育を行っている。2019年9月には、福島ロボットテストフィールド（RTF）に、開学以来初の会津若松市以外に立地する拠点として会津大学ロボットテストフィールド研究センターを開設するなど、福島イノベーション・コースト構想の重点分野のひとつであるロボット技術を中心に、情報工学的視点の技術研究と教育、産官学連携による研究開発、ロボットやICTの人材育成等の活動に取り組んでいる。

○福島国際研究教育機構（F-REI）に係る受託研究

F-REIの事業の一環として、シミュレーション技術を用いた高性能ロボットソフトウェア開発環境（ロボット・スマートプログラミング環境）に関する研究をすすめ、ロボット教育や開発現場での利用を目指している。

○浜通りにおけるロボット産業創生・発展に必要なロボットに関連するICT技術を持った人材の育成

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構から採択の大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業「若手人材が輝くロボット・ICT人材育成プログラム」を2021～2025年で実施し、南相馬市や相馬市の高校生等を対象に、ロボット技術やプログラミングに関する教育などを行ってきた。2026年度以降も復興知（後継事業）に応募予定。

○ロボット技術の共有、コミュニティづくり、World Robot Summit (WRS)参加の支援

南相馬ロボット産業協議会に参加し、南相馬市と連携により地元企業等とのロボット技術に関する意見交換や大学が有する学術的知見の伝達等を実施しており、WRS2025大会の一部の部門では同協議会と本学が共同出場した。

○南相馬における産官学連携の推進

地元企業等の競争力及びロボット・ICT産業基盤の強化につながる産官学連携活動、高等教育機関や研究機関との連携によるRTFを基盤とした教育・研究活動を実施している。

【基本情報】

団体名 公立大学法人 会津大学
事業内容 コンピュータ理工学、ソフトウェアを中心とした情報工学的視点の
ロボット技術研究
研究室 4、5号室
連絡先 rtf-rc@u-aizu.ac.jp



（会津大学ロボティクス関連サイト）（大学HP）